

の1)

- VLA : Veterinary Laboratories Agency** 獣医学研究所
Weanling: 離乳子畜 母乳から何か他の形態の食物へ切り替えて日の浅い動物の子ども。
Western blot: ウェスタンブロット **イムノブロット**参照。ウェスタンブロット法はとりわけ蛋白質(の分析)に用いられる。

人名録

本巻で引用された多くの研究者や大学人は、科学的慣行にしたがって取り扱い、本文では姓のみを記し、脚注に彼らの発表した業績を詳細に述べてある。しかしながら、多くの科学者及びその他の人々は共に、他の点で BSE 物語にとって重要である。彼らはその照会に対する正式な文書又は口頭で証拠を提出してきたか、本報告の他の巻で現われるかのどちらか、もしくはその両方である。これらの人々について、この人名録においては本巻で言及されている時点での彼らの肩書き、又は他の関連事項の簡略な記述を、共に記載してある。これら個人に関する他の情報は、本報告全 16 巻すべての総合人名録、第 16 巻の「参考資料」のなかに記してある。

- ドナルド・アチスン卿 主席医務官 (Chief Medical Officer) 1983-91
イングリッド・アレン教授 医学研究会議(MRC)の委員(Council member)、1989-93; アレン委員会(Allen Committee)議長; 海綿状脳症諮問委員会(SEAC)の委員、1990-96
ジェフリー・アーモンド教授 レディング大学微生物学教授 (Professor of Microbiology); MRC のマレー委員会(MRC's Murray Committee)の委員、1990-93; 1995 から SEAC の委員
ロイ・アンダーソン教授 オックスフォード大学動物学部 (Department of Zoology); 科学技術諮問会議(ACOST)の委員
(現サー・)デレク・アンドルー氏 農水食糧省(MAFF)事務次官 (Permanent Secretary) 1987-93
エリザベス・アトリッジ夫人 MAFF の動物保健及び獣医学グループ担当次官 (Under Secretary responsible for Animal Health and Veterinary Group) 1989-91
ロナルド・ベル教授 MAFF 主席科学顧問(Chief Scientific Advisor)、1985-89
ピーター・ビッグス教授 動物衛生研究所(IAH)所長(Director)、1986-88
サー・トーマス・ブルンデル教授 農業食糧研究会議(AFRC)、1985-94; 生物工学生物科学研究会議(BBSRC)、1994-96

クリス・ボストック博士	IAH 分子生物学事業部長(Head of Molecular Biology Division)、1989-97
ジョン・ボーン教授	IAH 所長(Director)及びブリストル大学動物衛生学教授(Professor of Animal Health)、1988 以降 ; ティレル委員会(Tyrrell Committee)の委員
レイモンド・ブラッドレー氏	中央獣医学研究所(CVL)病理学部長及び BSE 研究コーディネーター(Head of the pathology department and BSE research coordinator)、1987-95
フレッド・ブラウン教授	農業研究会議(ARC)のスクレイピーに関する委員会(ARC Committee on Scrapie)の委員、1977-87 ; 1990 以降海綿状脳症諮問委員会 (SEAC) の委員
ピーター・ブニヤン博士 (現サー・)ジョン・ケインズ氏	MAFF 主席科学顧問(Chief Scientific Adviser)、1990-95 教育科学省(DES) 事務次官(Permanent Secretary)、1989-93
ジョン・コリンジ教授	セイントメアリー・インペリアルカレッジ医学部分子神経遺伝学教授(Professor of Molecular Neuro-genetics, Imperial College School of Medicine at St Mary's)、1994 以降 ; SEAC の委員、1995 以降
ハリー・クールサード博士 ピーター・ドーソン博士	獣医外科医(Veterinary Surgeon) 次席獣医務官(Assistant Chief Veterinary Officer)、1987-95
ステファン・ディーラー博士	リーズの公衆衛生試験所(PHLS) ; 顧問微生物学者(consultant microbiologist)
アラン・ディッキンソン博士	1955 以来の海綿状脳症研究者(spongiform encephalopathy researcher) ; 神経病因学ユニット会長(NPU Director)、1981-87
クリストル・ドネリー博士	感染症疫学ウェルカム・財団センターの統計学ユニット部長(Head of the Statistics Unit, the Wellcome Trust Centre for the Epidemiology of Infectious Disease)、オックスフォード
ステファン・ドレル下院議員(MP)	保健省政務次官 (下院) (DH Parliamentary Under-Secretary (Commons))、1990-92 ; DH 国務大臣 (Secretary of State)、1995-97
アラン・エブリンガー教授	ロンドンキングズカレッジ免疫学教授(Professor Immunology, King's College London)
ヘレン・グラント博士	引退した神経病理学者
ジョン・ガマー下院議員(MP)	農水食糧大臣 (Minister of Agriculture, Fisheries and Food) 、1989-93
ティモシー・ホルト博士	下院官吏 (医学) (House Officer (medicine))、聖ジェー

ジェームス・ホープ博士	ムズ病院(St James's Hospital)、ロンドン・バルハム NPU 分子科学部長(Head of Molecular Sciences)、 1984-96
W.D.ヒューストン教授	アメリカ農務省(US Department of Agriculture)動物疫 学者(Veterinary epidemiologist) ; 1994 以降 SEAC の委 員
ビル・ジャレット教授	グラスゴー大学獣医病理学教授 (Professor of Veterinary Pathology) ; 農業食糧研究会議 (AFRC)
リチャード・キンバリン博士	動物保健研究所 (IAH)(1962-81)及び神経病因学ユニ ット (NPU) (1981-88)の TSE 研究科学者(research scientist);独立 TSE 顧問(independent TSE consultant)、 1988 以降
リチャード・レイシー教授	リーズ大学臨床微生物学名誉教授(Emeritus Profes- sor of Clinical Microbiology)
ノーマン・ラモン下院議員(MP)	大蔵大臣(Chief Secretary to the Treasury)
トーマス・リトル	中央獣医学研究所 (CVL) 所長代理(Deputy Director)、 1986-90 ; その後所長 / 取締役会長 (Director/Chief Executive)
ロバート・ローソン氏	MAFF 動物保健部長 (疾病管理) (Head of Animal Health (Disease Control))、1991-93 ; SEAC 事務局 (secretariat)
ジョン・マクレガー下院議員(MP)	農水食糧大臣 (Minister of Agriculture, Fisheries and Food)、1987-89
ケネス・マクオワン博士	MAFF 主席科学者グループ獣医科学連絡担当官 (Veterinary Science Liaison Officer, Chief Scien- tist's Group)、1988-95
ウォルター・ブライアン・マシューズ教授	オックスフォード大学臨床神経学名誉教授(Emeritus Professor of Clinical Neurology)
キース・メルドラム氏	主席獣医務官(Chief Veterinary Officer)
ジェレミー・メターズ博士	1989 年より主席医学担当官代理
イボール・ミルズ教授	ケンブリッジ大学医学名誉教授(Emeritus Professor of Medicine)
ロジャー・モリス教授	ニュージーランド、マッシー大学動物衛生学 Gilruth 教 授(Gilruth Professor of Animal Health)
サー・ケネス・マレー教授	エジンバラ大学分子生物学教授(Professor of Molecular Biology) ; マレー委員会議長 (Chair of the Murray Committee)
ハラシュ・ナラング博士	臨床微生物学者、PHLS、1977-94

マーチン・ニュービー教授	ロンドン市立大学統計科学教授 (Professor of Statistical Science, City University, London)
エリザベス・オーウェン夫人	MAFF 食品規格事業部 (Food Standards Division)
サー・ジョン・パティスン教授	SEAC 議長 (Chairman)、1995 年 11 月以降
ヒラリー・ピクルス博士	DH 主任医務官 (Principal Medical Officer)
ジョン・ピルト教授	ロンドンキングズカレッジ微生物学名誉教授 (Emeritus Professor Microbiology, King's College London)
マーク・パーデイ氏	有機農業農家 (Organic farmer)
ジョージ・ラダー教授	医学研究会議 (MRC) 会議の委員 (MRC Council member)、1988-92 ; 1996 以降取締役会長 (Chief Executive)
ジェームス・リード氏	イギリス農業用品貿易協会 (UKASTA) 会長 (Director General)
サー・ダイ・リース	MRC 事務局長 (Secretary, MRC) (後に最高責任者 (Chief Executive))、1987-96
ウィリアム・リース氏	主席獣医務官 (Chief Veterinary Officer)、1980-88
ロザリンド・リドリー博士	MRC 比較認識チーム部長 (Head of the MRC Comparative Cognition Team) ; ケンブリッジ大学実験心理学部 (Department of Experimental Psychology)
デビッド・シャノン博士	MAFF 主任科学者 (農務及び園芸) (Chief Scientist (Agriculture and Horticulture))、1987-95
ブライアン・シュリーブ	CVL 所長代理 (Deputy Director of the CVL)
サー・ジョセフ・スミス	公衆衛生研究サービス社長 (Director of the Public Health Laboratory Service)、1985-92
ピーター・スミス教授	疫学者、ロンドン大学衛生熱帯医学部 (Epidemiologist, London School of Hygiene and Tropical Medicine) ; 1996 から SEAC 委員
サー・リチャード・サウスウッド	BSE 作業部会議長 (Chairman, Working Party on BSE)、1988-89
デビッド・テラー博士	NPU 主任研究科学者 (Principal Research Scientist)、1981 以降
フィリップ・トーマス教授	ロンドン市立大学電気電子情報工学部名誉客員教授 (Honorary Visiting Professor, Department of Electrical, Electronic & Information Engineering, City University, London)
(現サー・)ドナルド・トンプソン	下院議員 (MP) MAFF 政務次官 (下院) (Parliamentary Secretary (Commons))、1986-89
デビッド・ティレル博士	ティレル委員会議長 (Chairman of the Tyrrell

	Committee)、1989 ; 1995 年 11 月まで SEAC 議長
ウィリアム・ワルデグレーブ	下院議員 (MP)ランカスター州担当大臣(Chancellor of the Duchy of Lancaster)、1992-94
ウィリアム・ワトソン博士	CVL 所長(Director of the CVL)、1986-90 ; 1990 年 5 月以降 SEAC 委員
ジェラルド・ウェルス氏	CVL 神経病理学部長(Head of the Neuropathology Section, CVL)、1985 以降
ピーター・ワイルディ教授	スクレイピー研究に関する ARC 顧問グループ(ARC Advisory Group on Scrapie Research)、1977-78
(現教授)ジョン・ワイルスミス氏	CVL 疫学部長 (Head of the Epidemiology Department)、1986 以降
(現教授)ロバート・ウィル	全国 CJD サーベイランスユニット長官(Director of the national CJD Surveillance Unit)、1990 年の設立以降 ; ティレル委員会(Tyrrel Committee)及び SEAC 委員
ステファン・ウッドゲイト氏	プロスペル・ド・ムルダー(Prosper De Mulder) (畜産処理会社)、1984-94